アメニティデザイン企業

施工説明書 取扱説明書

施工業者様用

お施主様用

※この説明書には、使用上のご注意等が記載されています。 必ず説明書をお施主様にもお渡しください。

大建工業の手摺付きロフトタラップ

この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。 施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。

警告

施工説明書本文に出てくる重要警告事項の部分は、 製品を施工する前に注意深く読み、よく理解してください。

必ずお守りいただきたいこと

大建工業のロフトタラップを長期間安全に使えるように施工、ご使用するために、またトラブルのない確実な施工、ご使用をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。



危

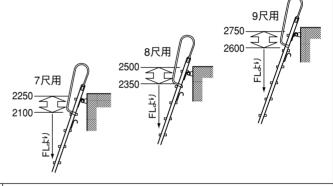


使用可能範囲外で施工しないこと。

この製品は使用可能範囲は、フック受け金具取り付け高さで

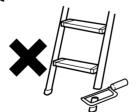
7尺用 2,100~2,250mm 8尺用 2,350~2,500mm 9尺用 2.600~2,750mm

使用可能範囲外で使うと踏みはずしの原因、一部箇所に荷重が集中し、破損により落下し、ケガをする危険があります。



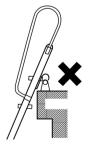
当社仕様と異なる改造で 施工しないこと。

強度が変化し、不測の 危険があります。



フック受け金具受は壁面に取り付けること。

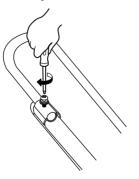
小屋裏面等に取り付けると、フックとの嵌合が甘くなり、使用時、フックがはずれる事により落下し、 ケガをする危険があります。



手摺は確実に取付けを行うこと。

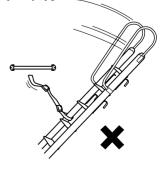
手摺の取付けが不十分の 場合、緩み外れることに より落下してケガをする 危険があります。

押さえ板は、必ず取付け ないと外れ、脱落の危険 があります。



倒れ防止ベルトは確実に取付 けを行うこと。

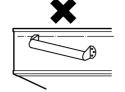
倒れ防止ベルトの取付けが不十分または、取付け位置が誤っていると緩み外れが原因でケガをする危険があります。



♪ 警告

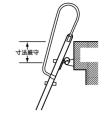
フック受け金具は水平に取り付けること。

水平でないとハシゴフックとの嵌合が甘くなり、ハシゴが斜めになる、ゆれる等により落下し、ケガをする危険があります。



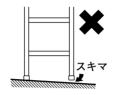
フック受け金具から屋根裏 までの高さ寸法を守ること。

ハシゴ支柱と屋根裏カドがあたり、 ハシゴフックとの嵌合が甘くなり、 使用時のフックがはずれる事によ り落下し、ケガをする危険があり ます。



両方のゴム脚の底が床面 に密着しているか必ず 確認してください。

密着してない状態で昇降するとは しごが動き落下する危険がありま す。



業務用や屋外に施工しないこと。

この製品は一般家庭の屋内用です。業 務用や屋外に使用すると使用頻度オー バー、劣化、サビ、変形し破損により 落下し、ケガをする危険があります。





階段・吹き抜け・ドア ・火気の近くに施工 しないこと。

近くに設置すると、踏みはずしなどで落下した場合ケガの危険度が増します。



はしごの昇降はかならず 1人で行ってください。

2人以上で昇降すると接触により落下する危険があります。



踏板に150kg以上の荷重を かけないでください。

破損により落下しケガを する危険があります。



はしごへ飛び乗ったり、飛び おりたり、揺さぶったり しないでください。

瞬間的に踏板へ大きな荷重が かかり破損により落下しケガ をする危険があります。



<u></u>注 意

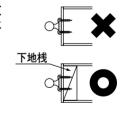
スリッパなど底の滑り やすい履物で昇降しな いでください。

踏みはずしてケガをする危険があ ります。



フック受け金具は取付位置 に下地桟のある強固な躯体 に取り付けること。

躯体が弱いと取付ビスの保持が弱くなる事より、フック受け金具を保持出来なくなり、不測の危険があります。



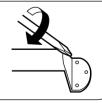
同梱の取付ビスを使用すること。

同梱以外のものの場合、フック受け金具手摺り固定を保持出来なくなるケースがあり、不測の危険があります。



取付ビスは確実に締めること。

取付ビスがゆるんでいるとフック受け金具手摺りを保持固定出来なくなり不測の危険があります。



危険の定義とシンボルマーク

本施工説明書では【危険】【警告】【注意】を次のような定義で使用しています。

危険

取扱いを誤った場合、使用者が 死亡または重傷を負う危険が 切迫して生じることが想定される場合。

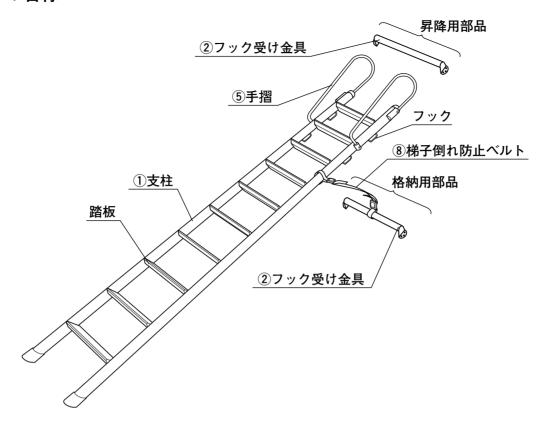
≜警告

取扱いを誤った場合、使用者が 死亡または重傷を負う可能性が 想定される場合。

⚠注意

取扱いを誤った場合、使用者が 傷害を負う危険が想定される場合および 物的損害のみの発生が想定される場合。

1. 各部の名称



2. 梱包内容・仕様

No.	名 称	仕様	数量
1	梯 子	支 柱鋼製(粉体塗装)踏 板集成材(ウレタン塗装)	1
2	フック受け金具	STK鋼製(粉体塗装)31.8 φ × L =450(1.6mm)	2
3	フック受け金具固定ネジ	3.8φ × L =45mm(丸頭ユニクロメッキ)	12
4	手 摺	STK19.1 φ(t =1.2mm) 鋼製(粉体塗装)	2
⑤	手摺固定ボルト(上用)	8 φ × L =40mm ※本体仮取付済み	2
6	手摺固定ボルト(下用)	6φ × L = 20mm ※本体仮取付済み	2
7	手摺固定用押さえ板(上用)	SPHC鋼製 (粉体塗装) 50×22mm (t=1.6mm) ※本体仮取付済み	2
8	梯子倒れ防止ベルト	PP (L=140cm)	1

3. 手摺の取付け方法

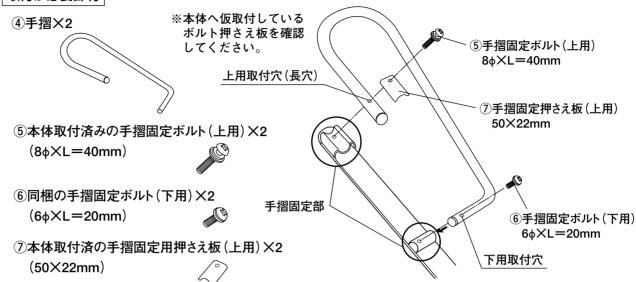
(1) 手摺は左右で2本有ります。

↑ 危険 必ず左右共に取付けを行ってください。

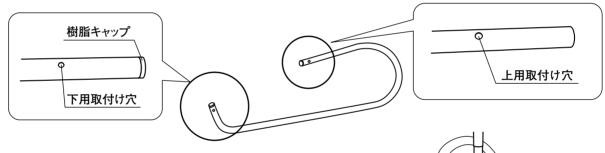
↑ 危険 下部より手摺を固定してください。

⚠ 危険 上用押さえ板は必ず取付してください。

取付け必要部材



- (2) 梯子支柱に付いている手摺固定部(上下片側二箇所)に手摺を取付けてください。(上図参照)
- (3) 手摺取付けは最初に下用を取付け、次に上用を取付けてください。



(4) 手摺固定は必ず同梱取付ボルトにて行ってください。

↑警告 取付けは確実に行わないと手摺が外れた際、ケガをする恐れがあります。また取付け後は完全に取付いているかをご確認の上使用ください。

介警告 取付け後はゆるみがないか必ず確認ください。

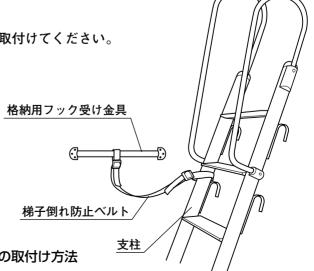
4. 梯子倒れ防止ベルト取付け方法

ベルトは片側を梯子支柱に、片側をフック受け金具に取付けてください。

☆ 危険 必ずフック受け金具取付けは、格納用フック受け金具に取付けを行ってください。

(防止ベルト有効長さは120cm)

① 危険 取付けは確実に行わないと梯子が外れた際、ケガをする恐れがあります。また取付け後は完全に取付いているかをご確認の上使用ください。

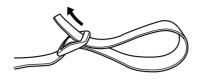


梯子倒れ防止ベルトの取付け方法

ベルト取付け方法

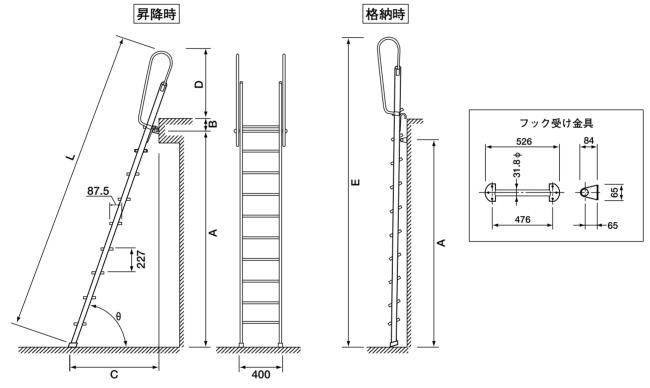


①バックルに下記図の様にベルトを通します。



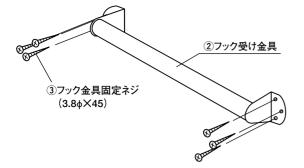


5. 標準納まり図



		7 尺用	8 尺用	9 尺用
使用可能高さ範囲	(A) + (B) mm	2,175~2,400	2,425~2,650	2,675~2,900
昇降用・格納用フック受け金具取り	付位置(A)mm	2,100~2,250	2,350~2,500	2,600~2,750
フック受け金具とロフトFLの段差	(B) mm	75~150	75~150	75~150
梯子角度	(θ)	63°~73°	65°~75°	66°~74°
フック受け金具取付面から梯子下	部先端 (C)mm	820~1,185	822~1,217	914~1,310
ロフトFLより手摺上端	(D) mm	456	458	435
格納時のFLから手摺上端	(E) mm	2,901~3,001	3,154~3,229	3,400~3,475
梯子長さ	(L) mm	2,893	3,135	3,377
踏板段数		10段	11段	12段
梯子重量		11Kg	12Kg	13Kg

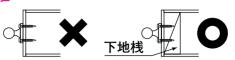
6. 施工



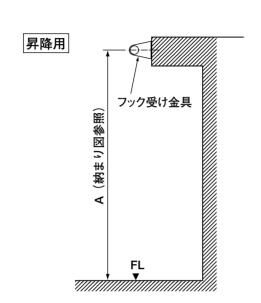
同梱のビスにて水平になる様に取付位置に下地桟のある強固な 躯体に取り付けてください。

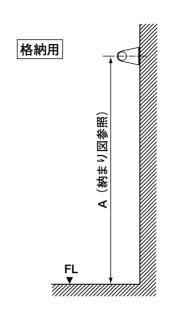
≜警告 フック受け金具は水平に取り付けること。

ック受け金具は取付位置に下地桟があることを 必ず確認し、 強固な躯体に取り付けること。



| | 注意 同梱のビスを使用すること。





7. 点検

- ・フック受け金具が確実にビスどめされている事をご確認ください。
- 手摺が左右確実に取付けられている事をご確認ください。
- ・倒れ防止ベルトが確実につけられている事をご確認ください。

ご相談窓口

ご不明な点などは、下記のご相談窓口までお問い合わせください。

011-856-2202 0138-6-2202 0138-6-2202 0138-6-2202 0168-6-2202 0166-24-1377 0155-25-8421 022-243-6621 019-636-1161 018-862-4441 019-636-1161 022-243-6621 023-632-2711 022-243-6621 017-729-2201 0178-70-7318 024-946-7211 026-222-6311 T003-021
T0041-0805
T003-021
T041-0805
T003-021
T041-0805
T003-021
T080-010
T080-010
T080-010
T080-010
T090-0866
T390-0862
T381-022
T160-023
T160-023 026-222-631 025-285-5887 026-222-6311 026-222-6311 026-222-6311 0258-33-5734 0263-40-0370 028-621-6431 028-621-6431 048-69-0660 027-364-9811 03-5386-5957 055-275-7931 046-222-1535 046-222-1535 046-222-1535 046-222-1535 045-284-284 047-183-4070 047-183-4070 054-288-3881 03-3249-4885 03-3249-4885 03-3249-4850 03-3249-4802

052-205-5811 052-205-5811 056-46-6752 058-246-6752 052-205-5811 053-458-5751 076-262-3211 076-262-3211 076-262-3211 076-262-3211 06-6915-7002 T460-0008
T460-0008
T460-0008
T460-0008
T430-0939
T514-0004
T920-0024
T939-8251
T920-0024
T538-0035
T640-8323
T658-0024
T538-0035
T660-8323
T660-0024
T738-0025
T670-0055
T670-0055
T670-0055
T670-0055
T670-0057
T734-0014
T734-0014
T734-0014
T734-0014
T742-0067
T734-0014
T734-0014
T742-0067
T758-0079
T780-0079
T880-0059
T880-0059 06-6915-7041 073-473-8090 06-6915-7041 098-879-4916 084-924-7196 093-522-1224 0957-35-0161 097-533-8701 092-413-2345 096-372-5211 096-372-5211 099-254-8300 0985-26-5908

2008.8 現在

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス http://www.daiken.jp/

製品のお問い合わせ・ご相談は 0120-787-505 ※携帯・PHSからはTEL.06-6452-6000へ 受付時間:平日9:00~17:00(土・日・祝・年末年始・お盆は休み)